

事業番号	事務事業名	奥津紅葉祭開催事業費	所管課名	産業観光課	令和 3 年度課長名	小椋 正己
04371	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	奥津振興センター	担当者・シート作成者	小林 英将
	施策名	25 観光の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	年間を通じて最大の集客時期である紅葉の時期に併せて奥津地域の風土、自然、物産、伝統等隠れた良さを観光客にアピールするとともに、鏡野町全域の活性化を促進する。 具体的には、コロナ禍の影響から「奥津もみじ祭り」および奥津溪周遊「もみじバス」の運行は中止したが、奥津溪一帯でのライトアップは実施した。	オープニングイベントについては、合併以前より旧奥津地域のイベントとして定着実施していたことから、現在も継続している。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 町民・観光客	ア 町民人口		見込 実績	12,754	12,625	12,497	11,800	11,627
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 来場者の増加(町のPR)	ア 来場者数(概数)		目標 実績 達成率	100 100 100.0%	100 0 0.0%	100 0 0.0%	100	100 0.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア もみじ祭り	ア もみじ祭りオープニングイベント 催行回数		目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 0 0.0%	1 0 0.0%	1	1 0.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計		01 款		07 項		01 目		03 大事業		中事業		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		商工費		商工費		観光費		03		12		奥津紅葉祭開催事業費					04371
予算(千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	決算 (千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比					
国庫支出金							国庫支出金											
県支出金							県支出金											
町債							町債											
その他特財							その他特財			3,666				3,666				
一般財源	4,453	4,783	4,990	5,491	5,491	207	一般財源	4,441	4,754	829	5,491	5,491	-3,925					
合計	4,453	4,783	4,990	5,491	5,491	207	合計(A)	4,441	4,754	4,495	5,491	5,491	-259					
財源名称							従事正職員人数	2	1	1	2	2						
							延べ業務事務時間	100	50	50	100	100						
							人件費計(千円)(B)	350	167	168	342	342	0					
	最終予算額		4,990 千円		予算執行率		90.0%	トータルコスト(A+B)	4,791	4,921	4,663	5,833	5,833	-259				
主な 支出事業内容 (予算)	委託料 溪谷警備及びライトアップ料					3,625 千円	主な 支出事業内容 (決算)	委託料 溪谷警備及びライトアップ料					3,505 千円					

事業番号	04371	事務事業名	奥津紅葉祭開催事業費	所管課名	産業観光課
------	-------	-------	------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	東洋一の臨六群、国の名勝地「奥津溪」の紅葉は十分に周知されており、来訪者は減少していない。数年前よりシーズンの渋滞等緩和のためのシャトルバスによるピストン輸送を開始し好評を博しているが、平成2年度及び3年度については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により主要なイベントを中止した。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯	平成20年度より「奥津温泉もみじ祭り」「奥津もみじ祭り」を統合し、奥津振興センターでオープニングイベントとしての位置づけとし開催している。全体を通して鏡野町観光協会が主体となり運営を行っているが、事務の軽減には繋がっていない。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?	鏡野町のPRでもあり盛大に開催してほしいといった意見がある一方で、参加者の大半が地元住民であり、他地域からの観光客招致にはあまり関係していないという声もある。また、イベントを行う際、感染拡大への影響を考慮しながら実施することが共通認識。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 奥津溪谷の紅葉については、合併以前より有名で、宣伝をせずとも秋の紅葉シーズンになれば、かなりの来客がある状況となっている。ただ、オープニングイベントについては、町外者の来場状況を見ると、来客効果に役立っているとは思えず、オープニングイベントと、紅葉に対する対応は切り離して考えた方が良いと思われる。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 合併時より、町の5大イベントの一つと言われているが、オープニングイベントとして実施されるもみじ祭りは、単なる地元イベントになってしまっている状況である。平成3年度はイベント未実施のため、観光協会に対する補助金支出がないが、もっと効果的な使い方を考えた方が良いと思われる。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適切である	理由説明 以前より、紅葉シーズンについては、奥津溪谷において大渋滞を引き起こすため、交通規制を実施しており、これについては継続する必要があると思うが、イベントをせずともこのシーズンは入込客が見込める中、あえてオープニングイベントの開催等、この時期に費用支出するのは理にかなっていないと思う。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 有効性の観点からいえば、この時期の来客数を含め考えると、地元住民の安全も考慮した交通安全確保などには積極的に努めつつ、この時期のイベントを控えることで、経費を他のシーズンに回す事などを考えれば、観光そのものの視点では向上余地があるものとする。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input checked="" type="checkbox"/> 影響がない <input type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 上記に記している内容から、オープニングイベントは廃止しても影響はないと考えるが、交通規制等、この時期のガードマン配置までなくすと、影響が出てくるものと思われる。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 観光協会にオープニングイベント経費として110万円も支出するのであれば、オープニングイベントを廃止し、他に使った方が、集客アップにつながるのではないかと考える。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 交通規制に伴う、ガードマンなどの人件費は年々向上しており、これについて押さえることは難しいが、現在の、オープニングイベントとして実施しているもみじ祭りを廃止することで、経費的には若干削減できると思う。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 形として、奥津振興センターの機能縮小により、観光協会への事務移管をされたようになっているが、オープニングイベントを実施するにしても、結局は事務の大半をセンター職員が行っている実態である。そうしたことから、こうした点を再度見直す必要があると思われる。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 オープニングイベントの実施等を含め考察すると、実態としての対象が、一部地域の住民に偏っている傾向もあると思われる。紅葉を多くの方に楽しんでもらうことは必要であるが、これについての事業選別は必要ではないかと思う。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり	もみじ祭りとして実施している期間は、約2週間だが、その中で実施する必要のあるものと、無いものの選別はきっちりと行うべきである。特に、全項目に該当しているのがオープニングイベントである。合併の余波をいまだに残している中、慣行的に続けられているが、町としても潤沢な財政状況ではない中、そろそろ事業選別をシビアに考えていった方が良いと思う。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 もみじ祭り期間を通して、必要なものと必要で無いものとの選別を再度、きっちり行う。その上で、削減できるコストは削減に努める。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持	○																							
	低下																								
上記に示した内容については、他の観光事業についても例外なく内容の精査を同時に実施していくことが大切であるとする。また、合併して17年も経過したことから、過去からの慣習は止めて、今の鏡野町にとって必要と思われる事業を選別する必要があるのではないかと。泥をかぶっても今やっておかないと、後々後悔する時が来るのではないかと。																									